

「公共工事等における 新技術活用システム」の 本格運用後、1年間を経て

新技術活用評価委員会の活動について

■本格運用後、1年間を経て

国土交通省では平成13年度に「公共工事における新技術活用促進システム」を創設し、新技術の公共工事への活用を促進してきました。

その後、平成17年度に「評価試行方式」を導入することでシステムを再編・強化し暫定運用を行ってきました。平成18年8月からは「公共工事等における新技術活用システム」を本格運用し、民間における新技術開発促進や優れた新技術活用による公共工事の品質確保、コスト縮減に努めてきました。現在、本格運用後1年間を経て、新技術活用評価委員会では各技術の審議と活発な意見交換が行われています。

■新技術活用評価委員会の開催状況

北海道開発局における平成19年度の新技術活用評価委員会は平成20年3月現在、合計4回開催されています。

- 第1回委員会開催：平成19年 6月27日
- 第2回委員会開催：平成19年 9月25日
- 第3回委員会開催：平成19年12月11日
- 第4回委員会開催：平成20年 3月10日

■事後評価技術一覧と概要

本年度、新技術活用評価委員会において以下の技術について事後評価の審議がされました。

◎事後評価（活用効果評価）：14技術

工種区分	NETIS番号 新技術名称	技術の概要（副題）	申請 区分	評価結果※			
				優位性	安定性	現場適用性	技術の位置づけ
共通工 法面工 植生工	CB-980067-V ネッコチップ工法	伐採材と現地発生土を利用した法面緑化工法	登録のみ	優れる	高い	広い	設計比較対象技術
	TH-990001-V アルファグリーン緑化吹付工法	コスト縮減・工期短縮・リサイクル型植生基材吹付工	登録のみ	優れる	高い	広い	設計比較対象技術
	CG-020023-V PRE(ピーアールイー)緑化工法	植物発生材を使用したコスト縮減型植生基材吹付工	登録のみ	優れる	高い	広い	設計比較対象技術
	QS-000021-V ローピングウォール工法	長繊維混入補強土一体緑化工法	試行申請型	優れる	高い	—	設計比較対象技術
	TH-020031-V オールグリーン工法	環境配慮型短繊維混入高機能吹付緑化工法	試行申請型	優れる	—	—	少実績 優良技術
	KT-980311-V 高次団粒SF緑化システム —SF緑化工法、TG緑化工法、BF緑化工法、ER緑化工法、MF緑化工法—	高次団粒吹付技術で表土を再生する緑化工法	試行申請型	優れる	—	—	
	QS-020013-V EMN厚層基材吹付工	イオン効果による団粒化で吹付厚を薄く施工できる工法	登録のみ	優れる	—	—	
	KT-990055-V エコサイクル緑化工法	廃棄物の有効利用によるリサイクル緑化工法	試行申請型	同等	—	—	
	CB-010041-V マザーソイル工法	表土シードバンク活用工法	試行申請型	同等	—	—	
共通工 法面工 地山補強工	KT-020056-V クモの巣ネット工法	防食加工した高強度ネット(テコネット)+ロックボルト=法面保護工	試行申請型	優れる	—	—	少実績 優良技術
共通工 法面工 吹付工	KT-980212-V ReSP工法	老朽化した吹付けコンクリート法面の補修・補強に関する機械化施工技術	登録のみ	優れる	—	—	
付属施設 防護柵設置工 落石防護柵設置工	HR-990001-V リングネット工法	高エネルギー吸収落石防護柵	登録のみ	優れる	—	—	
付属施設 防護柵設置工 落石防止網設置工	SK-980038-V ロープネット工(落石予防工)	ワイヤロープ構造の落石予防工	登録のみ	優れる	—	—	
付属施設 道路付属物工	HK-030032-V ランブルストリップス(センターライン対応型)	警告型切削溝による正面衝突事故対策	試行申請型	極めて優れる	高い	広い	設計比較対象技術

※従来技術(工法)と比較した評価結果です。
〔安定性〕は調査データのバラつきにより評価されます。

■事前審査技術一覧と概要

本年度、新技術活用評価委員会において以下の技術について事前審査がおこなわれました。

◎事前審査（試行申請型 旧Aタイプ）：8技術

工種区分	NETIS番号 新技術名称	技術の概要（副題）
付属施設 防護柵設置工 落石防護柵 (ストーンガード) 設置工	SK-010023 MJネット工法	超高エネルギー吸収落石防護柵
	SK-020001 ループフェンス	高エネルギー吸収落石防護柵
	HR-060013 メガロックキーパー	メガジュール級の落石エネルギーに対応でき、道路脇に設置して落石を受けとめるPC製の落石防護構造物
共通工 法面工 植生工	QS-980148-A 斜面樹林化工法	自然環境再生を目標とした斜面・法面への樹林化の新技術システム
	QS-040019-A デルチップ工法	自然の恵みを循環させるリサイクル緑化工法
共通工 法面工 コンクリート法枠工	KT-060046 リフレーム工法	客土拘束型法枠工(急勾配斜面においても飛来種子や埋土種子を利用した緑化を可能にする現場打吹付法枠工)
	HR-040015-A かんたん法枠工法	簡易吹付法枠工法
共通工 法面工 地山補強工	KK-040047 プレストネット工法	初期崩壊防止型地山補強工法

また、新技術活用評価委員会の事前審査において試行工事が可能と評価された以下の技術(H19年度以前の事前審査結果を含む)については、現在NETISにより試行現場の照会を行っています。

◎試行現場照会中の技術：10技術

工種区分	NETIS番号 新技術名称	技術の概要（副題）
付属施設 防護柵設置工 落石防護柵 (ストーンガード) 設置工	SK-010023 MJネット工法	超高エネルギー吸収落石防護柵
	SK-020001 ループフェンス	高エネルギー吸収落石防護柵
	HR-060013 メガロックキーパー	メガジュール級の落石エネルギーに対応でき、道路脇に設置して落石を受けとめるPC製の落石防護構造物
共通工 法面工 植生工	KT-010077-V 無足場ロックボルト工法	無足場削孔機(アンカーロックマシーン)によるロックボルト工
共通工 法面工 コンクリート法枠工	KT-040080-V ES工法	切土法面の全面を緑化可能にする法面安定工法
	QS-040019-A デルチップ工法	自然の恵みを循環させるリサイクル緑化工法
共通工 法面工 地山補強工	KT-990162-V ミニアンカー工法	先端に拡大部を有する補強材(ミニアンカー)による地山補強工法

工種区分	NETIS番号 新技術名称	技術の概要（副題）
共通工 法面工 プレキャストコンクリート 板設置工	KT-060002-V GET受圧板工法	鋳鉄製受圧板(GET受圧板)十ざぶとん裏込め材十各種永久アンカー工=地山の安定
橋梁上部工 プレキャストコンクリート PC床版設置工	KT-010080-V HSLスラブ工法	道路橋RC床版取換用高強度計量プレキャストPC床版
道路付属施設 道路付属物工	CB-040049-V サイン入り点字タイل 「マヨワーズ」	視覚障害者・一般障害者・高齢者・健常者併用サイン(標識)入り点字タイル

■新技術活用評価委員会で交わされた意見から

平成19年度の委員会からは事前審査・事後評価の審議に加え、システム上の課題や今後の取り組みについても活発な意見が交わされました。主要な意見の一部を紹介します。

- 試行現場照会中の技術については、可能な限り早急に試行現場を確定できるような周知の手法を検討することが望ましい。
- 事後評価の公正かつ正確な評価のためには、より一層の活用効果調査の蓄積と個々の精度向上が必要である。
- 「公共工事等における新技術活用システム」の評価手順・手法においては、例えば製品や材料等、工法に比べて公共事業の品質に影響が少ないと判断される技術においては簡易評価も視野に入れて取り組みを進めていくべきではないか。
- 地方自治体においては、財政難や土木技術者が少ないという現状を踏まえ、新技術活用の更なる促進を図っていただくことで、公共工事のコスト縮減や品質確保といった面で寄与できると考えられ、国としてより一層の支援が必要である。



■今後に向けて

新技術活用評価委員会では、新技術開発促進や優れた新技術活用による公共工事の品質確保、コスト縮減を目指し、次年度以降も活発に活動して参ります。